

令和 6 年 度 事 業 報 告

(自 令和 6 年 4 月 1 日～至 令和 7 年 3 月 31 日)

年月日	事業名	開催場所	摘 要
令 6. 5. 30	理事会 (第 1 回)	学士会館	<p>令和 6 年度第 1 回理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数 14 名中、出席理事 11 名（日高邦彦氏、坪井 裕氏、横山明彦氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、富岡義博氏、平井淳生氏、平栗健二氏、松井利行氏、丸山 茂氏、村上和夫氏）</p> <p>欠席理事 3 名（衣川裕司氏、齋藤祐樹氏、古澤 宏氏）</p> <p>出席監事 2 名（仲田一元氏、八島恵子氏）</p> <p>理事会議長として、横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 5 年度第 3 回理事会（令和 6 年 3 月 4 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議事項 1 令和 5 年度事業報告（案）承認の件 令和 5 年度事業報告（案）を承認。 ・審議事項 2 令和 5 年度計算書類等（案）承認の件 令和 5 年度計算書類等（案）を承認。 ・審議事項 3 任期満了に伴う評議員・理事・監事改選の件 令和 6 年度 6 月期の役員等の選出にあたって、評議員 17 名、理事 14 名、監事 2 名が、令和 6 年 6 月をもって任期満了となることに伴い、新評議員候補者、新理事候補者、及び新監事候補者（再任を含む）の情報が示された。審議の結果、新評議員候補者全員、新理事候補者全員、新監事候補者全員の推薦が了承された。 ・審議事項 4 定時評議員会の招集の件 以下の定時評議員会招集を承認。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 日時：令和 6 年 6 月 20 日(木) 14:30～15:30 (2) 場所：学士会館 302 号室（東京都千代田区神田錦町 3-28） (3) 目的である事項等 <ul style="list-style-type: none"> i) 令和 5 年度事業報告承認の件 ii) 令和 5 年度計算書類等承認の件 iii) 任期満了に伴う評議員・理事・監事選任の件
令 6. 6. 20	評議員会	学士会館	<p>令和 6 年度定時評議員会（令和 5 年度決算書類の承認）を開催。</p> <p>出席者：評議員 18 名中、出席評議員 15 名（井出育夫氏、上間功也氏、太田光昭氏、大淵一央氏、荻田恭之氏、佐々木昭悟氏、篠田幸男氏、島田尚江氏、蝶野正浩氏、寺西裕之氏、福山満由美氏、藤井勝紀氏、松尾智弘氏、吉岡靖浩氏、吉田 隆氏）</p> <p>他に、当法人監事・仲田一元氏が監査報告人、代表理事（会長）・日高邦彦氏、代表理事（理事長）・横山明彦氏がオブザーバーとして出席。</p> <p>欠席評議員 3 名（篠原郁二氏、服部正典氏、松本袈裟文氏）</p> <p>議長に上間功也氏氏を選出する。本評議員会の議決は定足数（評議員の過半数）を満たしていることを確認した後、議事録署名人に蝶野正浩氏、藤井勝紀氏を指名した。</p> <p>議事に先立ち、令和 5 年度定時評議員会議事録（令和 5 年 6 月 26 日開催）を確認した。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>[議事]</p> <p>・審議事項 1 令和 5 年度事業報告承認の件 専務理事から、令和 5 年度事業報告のポイント（第 71 回電気科学技術奨励賞の選定並びに贈呈式、第 61 回電気科学技術講演会）についてそれぞれ説明。その他の活動として、電気科学技術奨励賞分類部会を開催したほか、媒体の特長（Web サイトの迅速性、印刷媒体の品質・閲覧性）を活かした情報発信に努めたこと、さらに、賛助会員、寄附者への働きかけによって賛助会費と寄附の維持に努めたことを報告した。 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>・審議事項 2 令和 5 年度計算書類等承認の件 専務理事から、令和 5 年度計算書類等を詳細に説明。仲田監事から監査報告及び所感を得る。 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>・審議事項 3 任期満了に伴う評議員・理事・監事改選の件 専務理事から、評議員 17 名、理事 14 名、監事 2 名が、令和 6 年 6 月をもって任期満了となる旨を説明。今回、改選の対象となる新評議員候補者 16 名、新理事候補者 14 名、及び新監事候補者 2 名（再任を含む）の情報が示された〔なお、評議員 1 名（松本袈裟文氏）は、任期満了をもって退任〕。 慎重審議の結果、新評議員候補者全員、新理事候補者全員、新監事候補者全員の選任が承認された。選任が承認された新評議員候補、新理事候補（及び退任評議員）は以下のとおりである。</p> <p>[新評議員]（五十音順） 井出育夫氏（中部電力パワーグリッド株式会社） 上間功也氏（一般社団法人 電気通信協会） 太田光昭氏（株式会社 昭電） 大淵一央氏（富士通株式会社） 荻田恭之氏（関西電力送配電株式会社） 佐々木昭悟氏（株式会社 関電工） 篠田幸男氏（東京電力ホールディングス株式会社） 島田尚江氏（パナソニックホールディングス株式会社） 蝶野正浩氏（東京地下鉄株式会社） 津田健一郎氏（日本電気株式会社） 寺西裕之氏（三菱電機株式会社） 服部正典氏（株式会社 東芝） 福山満由美氏（株式会社 日立製作所） 藤井勝紀氏（東海旅客鉄道株式会社） 吉岡靖浩氏（株式会社 明電舎） 吉田 隆氏（富士電機株式会社）</p> <p>[新理事]（五十音順） 菊地康二氏（一般社団法人 日本電気協会） 齋藤祐樹氏（東日本旅客鉄道株式会社） 寒川哲臣氏（日本電信電話株式会社） 坪井 裕氏（株式会社 島津製作所） 富岡勇人氏（京浜急行電鉄株式会社） 富岡義博氏（電気事業連合会） 中嶋哲也氏（一般社団法人 日本電機工業会）</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>日高邦彦氏（東京大学 名誉教授） 平井淳生氏（一般社団法人 電子情報技術産業協会） 平栗健二氏（東京電機大学） 松井利行氏（公益財団法人 電気科学技術奨励会） 村上和夫氏（株式会社 オーム社） 横山明彦氏（東京大学 名誉教授） 米川明之氏（本田技研工業株式会社） [新監事]（五十音順） 仲田一元氏（仲田公認会計士事務所） 八島恵子氏（株式会社 オーム社） [退任評議員] 松本袈裟文氏（株式会社 興研）</p> <p>[報告事項] i) 第 62 回電気科学技術講演会の開催について 専務理事から、第 62 回電気科学技術講演会を、当会と東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 先端電力エネルギー・環境技術教育研究 アライアンス（APET）との共催により、7 月 31 日（水）に実施することになった旨を報告。 決定事項を以下に記す。 [第 62 回電気科学技術講演会] 日時：令和 6 年 7 月 31 日（水）14：30～17：10 会場：オンライン開催 テーマ：ワイヤレス電力伝送技術の開発動向 講演者：篠原 真毅 氏（京都大学） 田中 勇氣 氏（パナソニック ホールディングス株式会社） 居村 岳広 氏（東京理科大学）</p>
令 6. 6. 20	理事会 (第 2 回)	学士会館	<p>令和 6 年度第 2 回（臨時）理事会を開催。 理事総数 14 名中、出席理事 13 名（日高邦彦氏、坪井 裕氏、横山明彦氏、菊地康二氏、齋藤祐樹氏、富岡勇人氏、富岡義博氏、中嶋哲也氏、平井淳生氏、平栗健二氏、松井利行氏、村上和夫氏、米川明之氏） 欠席理事 1 名（寒川哲臣氏） 出席監事 2 名（仲田一元氏、八島恵子氏） 本理事会において理事長が選任されることに鑑み、横山理事に仮議長を務めて頂く。横山理事が仮議長席に着き、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 6 年度第 1 回理事会（令和 6 年 5 月 30 日開催）の議事録を確認した。 [議事] ・審議事項 1 代表理事（会長）、代表理事（理事長）、副会長、業務執行理事（専務理事）選任の件 村上和夫理事から、代表理事（会長）に日高邦彦氏、代表理事（理事長）に横山明彦氏、副会長に坪井裕氏、業務執行理事（専務理事）に松井利行氏をそれぞれ推薦する旨の提案があった。 この提案を諮ったところ、全員異議なく承認した。 横山理事が満場一致で理事長に選任されたことに伴い、横山理事長が議長</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>席に着く。以降、会議は横山議長のもとで進行した。</p> <p>[報告事項]</p> <p>i) 評議員、理事選任の件 専務理事から、令和 6 年度定時評議員会において、任期満了に伴う後任評議員 16 名、後任理事 14 名、後任監事 2 名（再任を含む）の候補者について、全員異議なく承認された旨を報告。</p> <p>ii) 第 62 回電気科学技術講演会 開催概要について 専務理事から、令和 5 年度第 3 回理事会（令和 6 年 3 月 4 日開催）での承認を受け、第 62 回電気科学技術講演会を、当会と東京大学工学系研究科電気系工学専攻先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス（APET）との共催で、7 月 31 日（水）に実施することになった旨を報告。</p>
令 6. 7. 8	分類部会	学士会館	<p>第 72 回電気科学技術奨励賞応募作分類部会を開催。</p> <p>出席者：分類部会委員 4 名全員（上間功也氏、栗田智久氏、平栗健二氏、松木隆典氏）が出席。</p> <p>他に、代表理事（会長）・日高邦彦氏、代表理事（理事長）・横山明彦氏がオブザーバーとして出席。</p> <p>議事：第 72 回電気科学技術奨励賞応募作の分類分けについて 松木隆典氏が座長席につき、第 72 回（令和 6 年度）電気科学技術奨励賞の応募作（受賞候補）53 件（135 名）の審査 5 分野（電力・エネルギー関係、産業・交通関係、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係、情報・通信関係、教育関係）への分類分けについて審議した。</p> <p>受賞候補による希望分野、及び応募作の内容に基づき、応募作の審査分野を、それぞれ、電力・エネルギー関係 13 件、産業・交通関係 16 件、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係 12 件、情報・通信関係 10 件、教育関係 2 件とすることで委員の意見が一致し、7 月 16 日に開催される第 1 回審査委員会に提案することになった。</p>
令 6. 7. 16	顕彰 （第 72 回 奨励賞第 1 回審査 委員会）	学士会館	<p>第 72 回電気科学技術奨励賞第 1 回審査委員会を開催。</p> <p>出席者：日高邦彦審査委員長、横山明彦審査副委員長、及び、審査委員 20 名中、出席委員 14 名（代理出席含む）。</p> <p>欠席委員 6 名。</p> <p>7 月 8 日開催の分類部会による提案のとおり、応募作 53 件の審査分野を、電力・エネルギー関係 13 件、産業・交通関係 16 件、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係 12 件、情報・通信関係 10 件、教育関係 2 件とすることが承認され、速やかに審査を開始することを決定した。</p> <p>審査委員 20 名（委員長、副委員長を除く）を 5 分野に分け、各委員は、それぞれ担当分野の書類審査（基礎審査）を行い、審査結果（基礎審査表）を 8 月 30 日までに事務局に提出することになった。</p>
令 6. 7. 31	講演会	オンライン 形式	<p>「第 62 回電気科学技術講演会」を開催。</p> <p>「ワイヤレス電力伝送技術の開発動向」をテーマとし、オンライン形式で実施した。</p> <p>[主催] 公益財団法人 電気科学技術奨励会／東京大学大学院 工学系研究科 電気系</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>工学専攻 先端電力エネルギー・環境技術教育研究 アライアンス (APET) (2 団体共催) [後援] 一般社団法人 電気学会、株式会社 オーム社 [講演内容] ○講演 1 「ワイヤレス電力伝送の技術と実用化の動向 ーIoT センサから宇宙太陽発電までー」 篠原 真毅 氏 (京都大学 生存圏研究所 教授) ○講演 2 「モバイル・IoT デバイスに向けた空間伝送型ワイヤレス給電技術」 田中 勇氣 氏 (パナソニック ホールディングス株式会社 マニファクチャリングイノベーション本部) ○講演 3 「走行中ワイヤレス給電の技術と必要性・実現可能性」 居村 岳広 氏 (東京理科大学 創域理工学部 電気電子情報工学科 准教授)</p> <p>講演では、3 名の講演者が、それぞれの専門の立場から、ワイヤレス電力伝送技術の開発動向について、実例を交えながら紹介した。</p> <p>京都大学の篠原真毅氏の講演では、ワイヤレス電力伝送技術の原理 (空間伝送型と結合型) を解説して頂くとともに、最新の開発動向及び標準化の動向について紹介して頂いた。また、最近新たに注目を集めている宇宙太陽光発電について、宇宙空間で発電を行う利点、電力をワイヤレスで地上に伝送する仕組みについて解説して頂いた。</p> <p>パナソニック ホールディングス株式会社の田中勇氣氏の講演では、モバイル・IoT デバイスへのワイヤレス給電技術、特に、マイクロ波による空間伝送型のワイヤレス電力伝送技術について解説して頂いた。解説では、ワイヤレス給電を行うためのアンテナ技術、回路技術の詳細に加えて、最新の開発事例についても紹介して頂いた。</p> <p>東京理科大学の居村岳広氏の講演では、電気自動車 (EV) が走行しながら給電 (充電) する「走行中給電」に焦点を当て、走行中給電技術の原理について解説して頂いた。結合型のワイヤレス電力伝送技術、特に、磁界共鳴型のワイヤレス電力伝送技術を詳しく解説して頂くとともに、実験の様子等も紹介して頂いた。走行中給電を行うためには、地面に送電装置・コイルを埋設する必要があるが、その埋設工事の様子も、写真や動画で見せて頂いた。</p> <p>本講演会の参加者は 322 名で、ワイヤレス電力伝送技術に対する関心の高さを伺い知ることができた。</p>
令 6. 9. 13	顕彰 (第 72 回 奨励賞第 2 回審査 委員会)	学士会館	<p>第 72 回電気科学技術奨励賞第 2 回審査委員会を開催。 出席者：日高邦彦審査委員長、横山明彦審査副委員長、及び、審査委員 20 名中、出席委員 16 名 (代理出席含む)。 欠席委員 4 名。 [第一次審査 (基礎審査)] 出席委員 (委員長、副委員長を除く) が、審査 5 分野 (電力・エネルギー関係、産業・交通関係、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係、情報・通信関係、教育関係) に分かれて第一次審査 (基礎審査) を行った。 各分野での議論の結果、電気科学技術奨励賞候補として、第二次審査に合計 27 件の受賞候補を推薦することになった。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>[第二次審査（総合審査）]</p> <p>第一次審査終了後、全審査委員による第二次審査（総合審査）に移った。議論の結果、26件（68名）の受賞を決定した。</p> <p>続いて、受賞作の中で最も高い評価を受けた1件を文部科学大臣賞に決定し、それに次ぐ評価を受けた1件を電気科学技術奨励会会長賞に決定した。</p> <p>決定にあたっては、班内で1位を付けた委員の数が最多（3名）の3つの候補について、出席委員全員による決選投票を行った。決戦投票は2回行い、最終的に過半数の得票を得た候補を文部科学大臣賞に決定し、それに次ぐ得票を得た候補を電気科学技術奨励会会長賞に決定した。</p> <p>（文部科学大臣賞は、日本電気株式会社による応募作、電気科学技術奨励会会長賞は、株式会社明電舎、明電システムソリューション株式会社の共同提出による応募作）</p> <p>最後に、事務局より、贈呈式を11月22日に東京神田・学士会館において実施する予定である旨が述べられたが、この年の夏に入って、新型コロナウイルスの感染者数がまた急増していることや、会場のキャパシティもあることから、9月25日開催の理事会で、贈呈式の開催形式、開催規模を決めること、詳細が決まり次第、審査委員にお知らせする旨が告げられた。</p>
令 6. 9. 25	理事会 (第3回)	学士会館	<p>令和6年度第3回（臨時）理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数14名中、出席理事10名（日高邦彦氏、坪井 裕氏、横山明彦氏、菊地康二氏、齋藤祐樹氏、寒川哲臣氏、富岡勇人氏、中嶋哲也氏、平井淳生氏、松井利行氏）</p> <p>欠席理事4名（富岡義博氏、平栗健二氏、村上和夫氏、米川明之氏）</p> <p>出席監事2名（仲田一元氏、八島恵子氏）</p> <p>理事会議長として横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和6年度第2回（臨時）理事会（令和6年6月20日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議事項1 第72回電気科学技術奨励賞受賞者決定の承認の件 令和6年度の第72回電気科学技術奨励賞の受賞者を、去る9月13日（金）の同賞審査委員会で別紙一覧のとおり決定し、本理事会において諮ったところ、全員一致で承認した。 ・審議事項2 第72回電気科学技術奨励賞贈呈式の開催形式の件 専務理事から、第72回電気科学技術奨励賞の贈呈式は、来たる11月22日（金）16時00分より学士会館で開催の予定だが、この年の夏に入って、新型コロナウイルスの感染者数がまた急増していることや、会場のキャパシティもあり、過密にならないように配慮する必要があることが述べられた。 そこで、本理事会にて、同賞贈呈式の開催形式、開催規模等を議論して頂きたい旨が述べられた。 議論の結果、第72回電気科学技術奨励賞の贈呈式は、以下の開催形式、開催規模で開催することが決定、承認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・対面開催とする。 ・受賞者に加えて、受賞者のご家族と来賓を招待する。 ・ただし、過密にならないよう、受賞者の同伴者の人数と、来賓の人数を制限する。 ・受賞者に、電気科学技術奨励賞、文部科学大臣賞、電気科学技術奨励会

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>長賞を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受賞者は1件ずつ壇上に登壇して頂き、賞状と副賞の贈呈、さらには、記念撮影を行う。 ・文部科学大臣賞については、文部科学省の方に会場にお越し頂き、受賞者に直接、賞状の授与を行うことをお願いする。 ・4省庁（文部科学省研究振興局長、総務省国際戦略局長、国土交通省大臣官房技術総括審議官、経済産業省資源エネルギー庁長官）より来賓を招待し、祝辞を賜ることをお願いする。 ・文部科学大臣賞受賞者に、受賞作の内容のプレゼンをして頂く。 ・贈呈式終了後に別室で祝賀パーティーを行う。 <p>[業務報告]</p> <p>i) 第62回電気科学技術講演会の報告 専務理事から、第62回電気科学技術講演会を7月31日（水）、オンライン形式で開催したことを報告。テーマを「ワイヤレス電力伝送技術の開発動向」とし、電力伝送のワイヤレス化に向けた取り組みに焦点を当てて、3人の講演者に解説をして頂いたこと、及び、インターネットを通じて322名の参加者があり、盛況であったことが報告された。</p> <p>ii) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告 定款第27条、及び法人法90条、197条により、職務の執行状況の報告が義務付けられていることに鑑み、令和6年3月～8月の執行状況について報告。併せて、代表理事、業務執行理事間の意見交換が随時行われていることが報告された。</p>
令6.11.22	顕彰 （第72回 電気科学 技術奨励 賞贈呈 式）	学士会館	<p>第72回電気科学技術奨励賞贈呈式及び祝賀会を開催。 式典：16:00～17:35 祝賀パーティー：17:50～19:15 場所：学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28） 式典の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長式辞 (2) 電気科学技術奨励賞委員会審査報告 (3) 電気科学技術奨励賞贈呈 (4) 文部科学大臣賞贈呈 (5) 電気科学技術奨励会会長賞贈呈 (6) 祝辞 (7) 受賞者総代答辞 (8) 文部科学大臣賞・内容紹介 <p>贈呈式は、16:00より開始され、当法人の日高邦彦会長が式辞を述べ、さらに審査委員会委員長として審査結果の報告を行った。引き続き、受賞者全員に電気科学技術奨励賞の賞状と副賞（雷神像の記念楯、賞金）の贈呈があり、さらに、文部科学大臣賞の贈呈、電気科学技術奨励会会長賞の贈呈と進んだ。</p> <p>各賞の贈呈の後、来賓の祝辞（文部科学省研究振興局長、総務省国際戦略局長、国土交通省大臣官房技術総括審議官、経済産業省資源エネルギー庁長官）が披露された。</p> <p>その後、全受賞者を代表して、文部科学大臣賞受賞の日本電気株式会社 辻</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>川剛範氏が答辞を読み上げた。続いて、辻川氏により、大臣賞受賞作の内容が解説された。</p> <p>文部科学大臣賞受賞作の解説をもって、贈呈式は滞りなく終了した。</p> <p>贈呈式終了後、17:50 より、祝賀パーティーが、昨年に引き続き、受賞者（同伴者を含む）とご来賓を交えて開催された。横山明彦理事長の開会の挨拶と乾杯の音頭でスタートし、参加者は、それぞれ思い思いに歓談し、同伴者ともども受賞を喜び合った。19:10 過ぎ、坪井裕副会長により中締めが執り行われ、盛会のうちに終了した。</p> <p>本贈呈式の出席者は、受賞者（及びそのご家族）・来賓を含め、129 名であった。</p>
令 7. 3. 4	理事会 (第 4 回)	KKR ホテル東京	<p>令和 6 年度第 4 回理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数 14 名中、出席理事 11 名（日高邦彦氏、坪井 裕氏、横山明彦氏、齋藤祐樹氏、寒川哲臣氏、富岡勇人氏、中嶋哲也氏、平井淳生氏、松井利行氏、村上和夫氏、米川明之氏）</p> <p>欠席理事 3 名（菊地康二氏、富岡義博氏、平栗健二氏）</p> <p>出席監事 2 名（仲田一元氏、八島恵子氏）</p> <p>理事会議長として、横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 6 年度第 3 回（臨時）理事会（令和 6 年 9 月 25 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議事項 1 令和 7 年度事業計画書（案）の件 専務理事から、令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）の事業計画として、主な事業（1. 第 73 回電気科学技術奨励賞の贈呈、2. 第 63 回電気科学技術講演会の開催、3. 媒体の特長を活かした情報発信、4. 賛助会員・寄附者の維持・拡大による財源の安定確保）について各項目別に説明し審議に入る。 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。 ・審議事項 2 令和 7 年度収支予算書（案）の件 専務理事から、事業計画に基づく令和 7 年度収支予算書（案）について、経常収益、経常費用等を勘定科目ごとに詳細に説明する。厳しい経済情勢の中、賛助金・寄附金を主な財源とする当会が経常収益を維持するのは容易ではないが、賛助会員・寄附者の維持・拡大による財源の安定確保に努めることで、総額 1,700～1,800 万円規模の予算を組んだこと、資金調達及び設備投資の見込みはないことが説明された。仲田監事から、同収支予算書（案）の所感を賜った後、審議に入る。 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。 ・審議事項 3 第 73 回電気科学技術奨励賞推薦候補募集に関する件 専務理事から、同審議事項の概要を説明する。推薦候補募集の書類を全国の電力会社、電機関連会社、各種団体、研究施設、大学・工業高専等へ送付して周知を図るほか、Web サイトを通じての告知、応募の促進に有効と思われる対象者に向けた電子メール等による情報発信を行うことを説明。また、ここ数年、教育分野の応募数が少なくなっており、その理由として、応募様式の情報量（分野の定義、記述できる内容）が、技術分野の応募様式に比べて少ないことが審査委員会で指摘されていた。そこで、令和 6 年度の第 72 回電気科学技術奨励賞の推薦募集では、特に、教育分野の応募様式を改

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>善し（情報量を増やし）、教育に携わる方々が、より応募しやすい内容とした。令和 7 年度の推薦募集においても、この改善を継続することが説明された。さらに、審査委員会の構成および奨励賞関連の行事日程を説明し審議に入る。</p> <p>出席理事から、技術関係用紙・教育関係用紙の「その 3」（成果の概要を、図表等を援用して 1 枚で説明する用紙）は、応募様式に追加して 2 年目となるが、今回も提出は任意とするのかとの質問があった。</p> <p>議論の結果、技術関係用紙・教育関係用紙の「その 3」については、引き続き、提出は任意とすることで、原案が承認された。</p> <p>・審議事項 4 第 63 回電気科学技術講演会の実施について</p> <p>専務理事から、第 63 回電気科学技術講演会を、以下の内容で実施することが提案された。</p> <p>〔提案内容〕</p> <p>○令和 3 年度～令和 6 年度（第 59 回～第 62 回）の電気科学技術講演会に引き続き、東京大学工学系研究科電気系工学専攻 先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス（APET）との共催で実施する。</p> <p>○夏期（7 月後半～8 月）の開催で検討する。</p> <p>○オンライン形式での開催を基本とする。</p> <p>○産業現場（設備業務）への AI・仮想空間の活用（あるいは、スマートメンテナンスの最新動向）について解説することをテーマとして検討する。</p> <p>○講師（講演者）は、最大 3 名で検討する（官庁・メーカー・各種法人等、組織のバランスに配慮する）。</p> <p>○講演時間は、最大 150 分（2 時間半）とする。</p> <p>○奨励会の予算から、1 人当たり 20,000～30,000 円の謝礼を支払う。</p> <p>慎重審議の結果、原案が承認された。</p> <p>〔業務報告〕</p> <p>i) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告</p> <p>専務理事から、定款第 27 条、及び法人法 90 条、197 条により、職務の執行状況の報告が義務付けられていることに鑑み、令和 6 年 9 月～令和 7 年 2 月の執行状況について報告。併せて、代表理事、業務執行理事間の意見交換が随時行われていることが報告された。</p>

以 上